

平成30年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年9月13日

上場会社名 株式会社 アインホールディングス
 コード番号 9627 URL <http://www.ainj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

TEL 011-814-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	66,095	14.3	3,963	73.7	4,135	74.0	2,120	54.6
29年4月期第1四半期	57,819	10.9	2,281	15.8	2,376	17.7	1,371	10.5

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 2,123百万円 (53.4%) 29年4月期第1四半期 1,384百万円 (14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	66.88	
29年4月期第1四半期	43.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年4月期第1四半期	155,698	60,717	39.0	1,912.69
29年4月期	156,323	60,178	38.4	1,895.63

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 60,646百万円 29年4月期 60,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		50.00	50.00
30年4月期					
30年4月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	129,400	10.7	6,700	32.7	6,900	29.1	3,600	26.1	109.76
通期	267,500	7.8	16,600	14.0	17,000	12.7	8,900	12.0	262.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益は、公募(2,820,000株)及び第三者割当(270,000株)による新株式発行を考慮し算出しております。また、平成29年10月3日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行(450,000株)を予定しておりますが、当該影響については払込期日前的ため考慮しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期1Q	31,888,212 株	29年4月期	31,888,212 株
30年4月期1Q	180,644 株	29年4月期	180,644 株
30年4月期1Q	31,707,568 株	29年4月期1Q	31,707,568 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年5月1日～平成29年7月31日)におけるわが国の経済は、個人消費が緩やかに持ち直すとともに、設備投資にも持ち直しの動きがみられ、企業収益は改善しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、都市型ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高が660億9千5百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は39億6千3百万円(同73.7%増)、経常利益は41億3千5百万円(同74.0%増)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億2千万円(同54.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(医薬事業)

調剤薬局部門の既存店売上高は、処方箋1枚当たりの売上高の上昇により、増収傾向で推移しております。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、在宅対応を中心とした地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的管理の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。また、平成29年4月に入社した307名の新卒薬剤師についても、かかりつけ薬剤師としての資質を向上させるべく教育研修を強化しております。

営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、589億2千9百万円(前年同期比14.6%増)、セグメント利益は48億2千1百万円(同40.3%増)と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計11店舗を出店し、23店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は1,054店舗となりました。

(物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合により、なお厳しい市場環境が続いております。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の出店を継続的に実施するとともに、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めております。また、「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」を始めとするオリジナルブランドの積極的な展開による粗利率の向上に加え、業務効率化を推進したことにより、収益は改善傾向にあります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、58億2千7百万円(前年同期比11.1%増)、セグメント利益は3千7百万円(前年同期は1億9千4百万円の損失)となりました。

同期間は、出店・閉店がなく、ドラッグストア店舗総数は52店舗であります。

(その他の事業)

その他の事業における売上高は13億3千8百万円(前年同期比18.0%増)、セグメント損失は2億3千8百万円(前年同期は4億1千9百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より6億2千5百万円減の1,556億9千8百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴いたな卸資産が増加した一方で、売掛金及びのれんが減少したことによるものであります。

負債の残高は、11億6千3百万円減の949億8千1百万円となりました。主な要因は、買掛金が増加した一方で、未払法人税等及び長期借入金の残高が減少したことによるものであります。

短期及び長期借入金の残高は、9億5千5百万円減となる248億9千6百万円となりました。

純資産の残高は、5億3千8百万円増の607億1千7百万円となり、自己資本比率は0.6ポイント改善となる39.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月6日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,775,207	29,500,303
受取手形及び売掛金	9,990,401	9,656,541
商品	11,402,078	12,426,957
貯蔵品	266,095	261,270
繰延税金資産	1,166,620	1,302,161
短期貸付金	632,826	658,488
未収入金	9,402,024	8,780,523
その他	2,829,934	3,010,145
貸倒引当金	△44,443	△44,376
流動資産合計	65,420,745	65,552,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,365,264	15,342,297
土地	9,958,446	9,871,918
その他(純額)	3,140,296	3,015,124
有形固定資産合計	28,464,007	28,229,340
無形固定資産		
のれん	40,939,448	40,438,300
その他	2,170,041	2,144,943
無形固定資産合計	43,109,490	42,583,243
投資その他の資産		
投資有価証券	2,435,333	2,476,295
繰延税金資産	2,167,711	2,125,340
敷金及び保証金	10,443,221	10,763,278
その他	4,595,122	4,281,071
貸倒引当金	△312,044	△312,044
投資その他の資産合計	19,329,345	19,333,943
固定資産合計	90,902,843	90,146,527
資産合計	156,323,588	155,698,542

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,325,588	41,779,744
短期借入金	7,596,939	8,520,056
未払法人税等	2,898,695	1,785,632
預り金	14,223,768	14,255,391
賞与引当金	1,903,976	1,648,910
役員賞与引当金	16,090	6,633
ポイント引当金	410,502	410,282
返品調整引当金	14,165	9,362
その他	6,566,001	5,299,139
流動負債合計	72,955,729	73,715,153
固定負債		
長期借入金	18,254,657	16,376,320
退職給付に係る負債	2,331,956	2,312,252
その他	2,602,261	2,577,417
固定負債合計	23,188,874	21,265,989
負債合計	96,144,603	94,981,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	6,367,844	6,367,844
利益剰余金	45,286,878	45,822,181
自己株式	△419,598	△419,598
株主資本合計	59,918,101	60,453,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,407	102,717
退職給付に係る調整累計額	101,414	90,639
その他の包括利益累計額合計	187,821	193,356
非支配株主持分	73,061	70,637
純資産合計	60,178,984	60,717,398
負債純資産合計	156,323,588	155,698,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	57,819,476	66,095,226
売上原価	48,865,278	55,034,844
売上総利益	8,954,198	11,060,382
販売費及び一般管理費	6,672,530	7,096,849
営業利益	2,281,667	3,963,533
営業外収益		
受取利息	16,586	16,884
受取配当金	20,848	19,210
受取手数料	8,628	20,052
不動産賃貸料	57,203	59,900
業務受託料	34,877	46,847
その他	47,662	102,235
営業外収益合計	185,805	265,131
営業外費用		
支払利息	32,772	33,725
債権売却損	15,862	17,031
不動産賃貸費用	22,242	25,079
その他	20,251	17,037
営業外費用合計	91,128	92,874
経常利益	2,376,345	4,135,790
特別利益		
固定資産売却益	3,513	1,789
投資有価証券売却益	150,400	248
保険解約返戻金	36,908	17,881
その他	—	11,298
特別利益合計	190,821	31,217
特別損失		
固定資産除売却損	58,411	71,702
役員退職慰労金	2,931	70,000
その他	23,726	41,794
特別損失合計	85,068	183,496
税金等調整前四半期純利益	2,482,098	3,983,511
法人税等	1,116,690	1,865,254
四半期純利益	1,365,407	2,118,256
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,998	△2,424
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,371,406	2,120,681

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	1,365,407	2,118,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,253	16,310
退職給付に係る調整額	△8,171	△10,774
その他の包括利益合計	19,082	5,535
四半期包括利益	1,384,490	2,123,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,390,488	2,126,216
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,998	△2,424

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年5月1日 至平成28年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	51,438,259	5,246,834	1,134,382	57,819,476	—	57,819,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	94,232	94,232	△94,232	—
計	51,438,259	5,246,834	1,228,614	57,913,708	△94,232	57,819,476
セグメント利益又は損失(△)	3,437,257	△194,511	△419,624	2,823,121	△446,775	2,376,345

(注) 1. セグメント利益の調整額△446,775千円には、全社費用が822,252千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△359,661千円、セグメント間取引消去が△15,816千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年5月1日 至平成29年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,929,336	5,827,118	1,338,771	66,095,226	—	66,095,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	84,824	84,824	△84,824	—
計	58,929,336	5,827,118	1,423,595	66,180,050	△84,824	66,095,226
セグメント利益又は損失(△)	4,821,691	37,737	△238,946	4,620,482	△484,691	4,135,790

(注) 1. セグメント利益の調整額△484,691千円には、全社費用が930,609千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△440,189千円、セグメント間取引消去が△5,728千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

新株式の発行、自己株式の処分及び株式売出し

当社は、平成29年8月22日開催の取締役会において、公募及び第三者割当による新株式発行、自己株式の処分並びに当社株式の売出しに関する決議を行い、下記1、2及び3の新株式発行並びに自己株式の処分につきましては、平成29年9月6日付けで全額の払込を受けております。

1. 公募による新株式発行(一般募集)

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式2,820,000株
(2) 発行価格	1株につき7,760円
(3) 発行価格の総額	21,883,200千円
(4) 払込金額	1株につき7,440円
(5) 払込金額の総額	20,980,800千円
(6) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本の額10,490,400千円 増加する資本準備金の額10,490,400千円
(7) 払込期日	平成29年9月6日

2. 公募による自己株式の処分(一般募集)

(1) 処分株式の種類及び数	普通株式180,000株
(2) 処分価額	1株につき7,440円
(3) 払込金額の総額	1,339,200千円
(4) 払込期日	平成29年9月6日

3. 株式会社セブン&アイ・ホールディングスを割当先とする第三者割当による新株式発行

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式270,000株
(2) 払込金額	1株につき7,760円
(3) 払込金額の総額	2,095,200千円
(4) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本の額1,047,600千円 増加する資本準備金の額1,047,600千円
(5) 払込期日	平成29年9月6日

4. 当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

(1) 売出株式の種類及び数	普通株式450,000株
(2) 売出価格	1株につき7,760円
(3) 売出価格の総額	3,492,000千円
(4) 受渡期日	平成29年9月7日

5. 野村證券株式会社を割当先とする第三者割当による新株式発行

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式450,000株
(2) 払込金額	1株につき7,440円
(3) 払込金額の総額	(上限) 3,348,000千円
(4) 増加する資本金及び資本準備金の額	増加する資本金の額(上限) 1,674,000千円 増加する資本準備金の額(上限) 1,674,000千円
(5) 払込期日	平成29年10月3日

6. 資金の使途

今回の一般募集及び第三者割当増資による手取概算額合計上限27,623,200千円については、13,400,000千円を平成31年4月末までに当社グループの調剤薬局及びドラッグストア等の新規出店及び既存店舗の改装並びに本社を含むシステム導入・入替に係る設備投資資金の一部に充当し、残額は平成32年4月末までに当社グループ各社の一部の子会社化時における株式取得資金、運転資金及び設備投資資金として金融機関から借入れた当社グループの借入金の返済資金の一部に充当する予定であります。